

2020年

審判員認定会用問題集



日時：2020年 月 日

場所：

日本フットベースボール協会

Japan Foot-Baseball Association

2020年 JFBA 試験問題(2級用)

問1 次の表は競技場を区画する諸線の表ですが、空欄に入る名称または数字を解答欄記入
 下さい。

(各2点)

| 名 称 | 小学生用 | 中学生・成人用 | 解答欄 | |
|-------------|-----------------------|---------|-----|---|
| ラインの幅 | (① cm ~ cm) | | ① | |
| 罫 間 | (② m) | (③ m) | ② | ③ |
| 本二罫間 | (④ m) | (⑤ m) | ④ | ⑤ |
| フェアライン | (⑥ m) | (⑦ m) | ⑥ | ⑦ |
| (⑧) | 7m | 8m | ⑧ | |
| ファウルライン | (⑨ m) | (⑩ m) | ⑨ | ⑩ |
| (⑪) | 5m | | ⑪ | |
| キャッチャーズサークル | 直径(⑫ m)の円 | | ⑫ | |
| ベンチ | 長さ(⑬ m) × 幅(⑭ m) | | ⑬ | ⑭ |
| コーチーズボックス | 幅 (⑮ m) × 奥行(⑯ m) | | ⑮ | ⑯ |

問2 次の設問の解答を記入下さい。

(各3点)

1. 得点が認められない場合を4つ解答欄に記入下さい。

| 解 答 欄 | |
|-------|--|
| ① | |
| ② | |
| ③ | |
| ④ | |

2. タッチアップの早すぎたランナーが元の塁に戻れなくなる場合を4つ解答欄に記入しなさい。

| 解 答 欄 | |
|-------|--|
| ① | |
| ② | |
| ③ | |
| ④ | |

3. 抗議のうち受け付けられないものを4つ解答欄に記入しなさい。

| 解 答 欄 | |
|-------|--|
| ① | |
| ② | |
| ③ | |
| ④ | |

問3 不正交代が守備中に発見された場合の措置を記入しなさい。

(各4点)

| | | 解 答 欄 |
|---|--|-------|
| ① | プレイの関与にかかわらず違反者は | |
| ② | プレイに関与して次のキッカーに主審がプレイの宣告(笛の合図)をする前に発見されたときは, | |
| ③ | プレイに関与した後, 次のキッカーに主審がプレイの宣告(笛の合図)をした後は, | |

問4 次の事例に対する適切な措置を解答欄に記入しなさい。

(各2点)

【事例】

2アウト、ランナー二塁・三塁でキッカーがフェアボールをキックし、二塁・三塁ランナーともホームインし、キッカーランナーは二塁に到達した。

ホームボールデッド後、守備側チームから二塁ランナーが三塁ベースを空過したとのアピールがあり、これが認められた。

| | | 解 答 欄 |
|----|----------|-------|
| 1. | アウトカウントは | |
| 2. | 得点は | |

問5 次の事例に対する適切な措置を解答欄に記入しなさい。

(各2点)

1アウトランナー一塁・三塁でキッカーが外野にフライ（飛球）をキックし、守備者がこれを直接捕球した。

一塁ランナー・三塁ランナーともタッチアップ後それぞれ進塁し、三塁ランナーはホームインした。このとき守備側チームから一塁ランナーのタッチアップが早すぎたとのアピールがあり、これが認められた。

| | | 解 答 欄 |
|----|-----------|-------|
| 1. | アウトになる選手は | |
| 2. | アウトカウントは | |
| 3. | 得点は | |

2020年 JFBA 試験問題(2級用)

解 答

問1 次の表は競技場を区画する諸線の表ですが、空欄に入る名称または数字を解答欄記入
 下さい。

(2点×16問=32点)

| 名 称 | 小学生用 | 中学生・成人用 | 解答欄 | |
|-------------|-----------------------|---------|-------------------------------------|---------|
| ラインの幅 | (① cm ~ cm) | | ① 5 cm ~ 7 cm | |
| 塁 間 | (② m) | (③ m) | ② 16 | ③ 18 |
| 本二塁間 | (④ m) | (⑤ m) | ④ 22.63. | ⑤ 25.45 |
| フェアライン | (⑥ m) | (⑦ m) | ⑥ 6 | ⑦ 7 |
| (⑧) | 7m | 8m | ⑧ ディフェンスライン | |
| ファウルライン | (⑨ m) | (⑩ m) | ⑨ 45 | ⑩ 55 |
| (⑪) | 5m | | ⑪ キッカーズサークル 又は ファウルラインと境界線の距離 | |
| キャッチャーズサークル | 直径(⑫ m)の円 | | ⑫ 1 | |
| ベンチ | 長さ(⑬ m) × 幅(⑭ m) | | ⑬ 7 | ⑭ 2 |
| コーチーズボックス | 幅 (⑮ m) × 奥行(⑯ m) | | ⑮ 3 | ⑯ 1 |

問2 次の設問の解答を記入下さい。

(3点×12問=36点)

1. 得点が認められない場合を4つ解答欄に記入下さい。

| 解 答 欄 | |
|-------|-----------------------------------|
| ① | キッカーランナーが、一塁ベースに触れる前に第3アウトになった場合 |
| ② | ランナーのフォースアウトが第3アウトになった場合 |
| ③ | 前位のランナーが第3アウトになった場合 |
| ④ | 第3アウトより有利なアピールアウトの第4アウトと置き換えられた場合 |

2. タッチアップの早すぎたランナーが元の塁に戻れなくなる場合を4つ解答欄に記入しなさい。

| 解 答 欄 | |
|-------|---|
| ① | 後位のランナーが得点した場合 |
| ② | インプレイ中にランナーが境界線を出してしまった場合 または ランナーが境界線を出してしまった場合 |
| ③ | ランナーがベンチに戻ってしまった場合 |
| ④ | ランナーが次の塁に達してボールデッドになった場合 |

3. 抗議のうち受け付けられないものを4つ解答欄に記入しなさい。

| 解 答 欄 | |
|-------|------------------|
| ① | アウトかセーフの判定 |
| ② | ファウル・フェアボールの判定 |
| ③ | ベースに触れたかどうかの判定 |
| ④ | タッチアップのタイミング等の判定 |

問3 不正交代が守備中に発見された場合の措置を記入しなさい。

(4点×3問= 12点)

| 解 答 欄 | |
|-------|---|
| ① | プレイの関与にかかわらず違反者は 試合から除かれる。 |
| ② | プレイに関与して次のキッカーに主審がプレイの宣告(笛の合図)をする前に発見されたときは, 攻撃側の監督(または代理者)に次の選択権を与える。 ※1 プレイの結果を生かす ※2 蹴り直し(キック完了前のカウントに戻す)をするか |
| ③ | プレイに関与した後、次のキッカーに主審がプレイの宣告(笛の合図)をした後は, その経過した全てのプレイは有効である。 |

問4 次の事例に対する適切な措置を解答欄に記入しなさい。 (2点×2問= 4点)

【事例】

2アウト、ランナー二塁・三塁でキッカーがフェアボールをキックし、二塁・三塁ランナーともホームインし、キッカーランナーは二塁に到達した。

ホームボールデッド後、守備側チームから二塁ランナーが三塁ベースを空過したとのアピールがあり、これが認められた。

| 解 答 欄 | | |
|-------|----------|------|
| 1. | アウトカウントは | 3アウト |
| 2. | 得点は | 1点 |

問5 次の事例に対する適切な措置を解答欄に記入しなさい。 (2点×3問= 6点)

1アウトランナー一塁・三塁でキッカーが外野にフライ（飛球）をキックし、守備者がこれを直接捕球した。

一塁ランナー・三塁ランナーともタッチアップ後それぞれ進塁し、三塁ランナーはホームインした。このとき守備側チームから一塁ランナーのタッチアップが早すぎたとのアピールがあり、これが認められた。

| 解 答 欄 | | |
|-------|-----------|--------|
| 1. | アウトになる選手は | 一塁ランナー |
| 2. | アウトカウントは | 3アウト |
| 3. | 得点は | 1点 |

2020 年 JFBA 試験問題(3 級用)

問1 次の文章で、正しいものに「○」、間違っただものに「×」を解答欄に記入しなさい。(各2点)

| | | 解答欄 |
|----|---|-----|
| 1. | 小学生用コートのフェアラインは、本塁の交点から半径6m、中学生・成人用は7mである。 | |
| 2. | ベースラインとは、本塁と一塁、および本塁と三塁を結ぶファウルラインを外野方向に延長したラインでフェア地域とファウル地域とを区画するラインである。 | |
| 3. | 境界線は、競技場を区画するラインでボールが境界線に到達したとき。またはボールを保持したプレイヤーの身体の一部がオンライン上にある場合はボールデッドとする。 | |
| 4. | 同一チームのユニフォームは同色・同意匠で統一し、プレイヤーの背番号は1番から25番とする。 | |
| 5. | 危険防止のため、プレイ中の腕時計、指輪、ブレスレットやネックレス、イヤリング、ヘアピン等危険と思われるものの着用は禁止する。 | |
| 6. | ランナーコーチは、メンバー表に登録されたプレイヤーが一塁側・三塁側コーチーズボックスに入れるが、入るか入らないかは攻撃側の自由である。 | |
| 7. | キャッチャーは、ボールを本塁ベース上にセットした後、速やかにキャッチャーズサークル内に入り、キッカーがボールに触れるまではキャッチャーズサークルから出てプレイしてはならない。 | |
| 8. | プレイヤーの交代は、監督(又は代理者)が主審に通告し、主審が受諾了解して時点で成立する。 交代したプレイヤーは退いたプレイヤーのキック順を受け継ぐことになる。 | |
| 9. | 一旦試合から退いたプレイヤーはランナーコーチとして以外はその試合に参加できない。(リエントリー(再出場)の場合を除く) | |

解答欄

| | |
|-----|--|
| 10. | 通告をしないでプレイヤーが出場・交代したときは『無資格プレイヤー』となる恐れのあるプレイヤーとなり、相手チームに発見された場合は、直ちに『無資格プレイヤー』となる。 |
| 11. | プレイヤーは、登録名簿又はメンバー表のいずれかに掲載されていればよい。 |
| 12. | キャッチャーが本塁ベース上でボールを保持したときは、『ホームボールデッド』となるが、進塁中のランナーは次の塁までの安全進塁権が与えられる。 |
| 13. | フォース状態で蹴られたゴロのフェアボールが塁上のランナーに直接触れた場合は、インプレイでランナーは進塁できる。 |
| 14. | インプレイ中にベースコーチがランナー触れた場合は、ボールデッドを宣告する。 |
| 15. | インプレイ中のボールが審判員に当たった場合は、ボールデッドとなる。 |
| 16. | タイブレークを採用する場合の試合の続行方法は、「無死、ランナー一塁・二塁の状態から行なう。 |
| 17. | キッカーは、キッカーズサークルサイドラインの横で待機し、キャッチャーがキャッチャーズサークルに入ればキッカーズサークル後方のバックラインに沿って進行し、任意の位置で本塁ベース方向に向かって停止する。キッカーは一旦停止した後は左右いずれにも移動してはならない |
| 18. | キッカーが助走中に、停止したり同じ位置で足踏みをした場合は、キッカーの動作違反で『ファウル』と判定する。 |
| 19. | キッカーによりキックされたゴロのボールが、フェアラインに到達した後に守備者に触れられた場合は、フェアボールである。 |
| 20. | キッカーランナーが一塁ベースを走り抜けるときはファウル地域側のベースに触れなければならない。 |
| 21. | 不正位キッカーがキックを完了し、次のキッカーがキッカーズサークルに入り、主審がキックの合図(笛を吹いた)をした後は、相手チームからのアピールは認められない。 |
| 22. | ランナーが塁を逆走しなければならないときは、ボールデッド後であっても進塁とは逆の順序で、全ての塁に再度触れて戻らなければならない。 |

解答欄

| | | |
|-----|---|--|
| 23. | キッカーがボールに触れる前に、ランナーが塁を離れたときは、離塁反則として当該ランナーにアウトを宣告する。 | |
| 24. | タッチアップの早すぎたランナーが次の塁に達しボールデッドになった場合、当該ランナーは元の塁に戻れない。 | |
| 25. | ランナーが進塁中にホームボールデッドになった場合、ランナーは直前に占有していた塁に戻らなければならない。 | |
| 26. | フェアボールが一旦守備者に触れた後、塁間のランナーに当たったときは、ランナーはアウト、ボールデッドとなる。 | |
| 27. | ランナーがホームボールデッド後勢いあまって境界線を出たため、当該ランナーにアウトを宣告した。 | |
| 28. | ボールを持たない守備者がランナーの走塁を妨げたため、即座に『走塁妨害』『ボールデッド』を宣告した。 | |
| 29. | 低いライナーのボールを守備者が捕球したとき、勢いあまってボールの下部が地面に接触したが、捕球とみなして『キッカーアウト』を宣告した。 | |
| 30. | 守備者の横をすり抜けそうなフェアボールを守備者が足で止め一塁に送球した。このとき、キッカーランナーが一塁ベースに触塁するより早く守備者が一塁ベース上で送球を保持したため、キッカーランナーに『アウト』を宣告した。 | |
| 31. | ランナーは、守備者が捕球または送球しようとしている場合、その場所を譲る義務があり、守備者のプレイを妨げた場合は守備妨害となる。 | |
| 32. | 公式試合の審判員は、主審1名と塁審3名および副審(記録員)2名で構成し、各審判員の任務は全員同等である。 | |
| 33. | 守備者が塁上でボールを保持するのとランナーの触塁が同時の場合はセーフと判定する。 | |
| 34. | キッカーのキックと守備者またはキャッチャーのラインオーバーが同時の場合は、キック妨害と判定する。 | |
| 35. | 受け付けられる抗議は次の場合である。 (1) 競技規則の解釈に間違いがあるとき (2) 審判員の裁定が、規則の適用を誤って課せられた疑いがあるとき | |

問2 次のうち試合を続行するプレイ(インプレイ)を選択し、解答欄に「○」を記入しなさい。

(各2点)

※ 正答以上に「○」がある場合は減点する。

| | | 解答欄 |
|----|--|-----|
| 1. | 蹴られたゴロのフェアボールがフォース状態におかれた塁上のランナーに直接接触した場合 | |
| 2. | ランナーが進塁・帰塁(安全進塁・帰塁を除く)の別なく守備者の投げたボールに触れた場合 | |
| 3. | ランナーが挟殺プレイ中のラインオーバーでアウトとなった場合 | |
| 4. | ランナーの離塁が早くアウトになった場合 | |
| 5. | 後位のランナーが前位のランナーを追い越した場合 | |
| 6. | インプレイ中のボールが審判員に当たった場合 | |

問3 次の事例に対する適切な措置を選択し、その記号を解答欄に記入しなさい。

【事例】

2アウト、ランナー一塁・二塁でキッカーがフェアボールをキックし、一塁ランナー・二塁ランナーおよびキッカーランナーがホームインした。

ホームボールデッド後、守備側チームから一塁ランナーが三塁ベースを空過したとのアピールがあり、これが認められた。

(各3点)

| | | 解答欄 |
|----|--|-----|
| 1. | アウトになる選手は a. 一塁ランナー b. 二塁ランナー c. キッカーランナー | |
| 2. | 得点は a. 0点 b. 1点 c. 2点 | |

問4 次の事例に対する審判員の正しいコール・動作・措置を次の組み合わせの中から選択し「○」を記入しなさい。 (4点)

【事例】

ボールを持たない守備者または送球・捕球プレイに直接関係しない守備者が、ランナーの走塁を妨げるプレイが発生した。

| | | 解答欄 |
|----|--|-----|
| 1. | <p>①妨害した守備者を指さし『オブストラクション(走塁妨害)』を宣告する。</p> <p>⇒②両手を開いて頭上に挙げ『ボールデッド』をコールし、試合の進行を一時停止する。</p> <p>⇒③当該ランナーに対し妨害がなければ達したと思われる塁までの安全進塁権を与える。</p> | |
| 2. | <p>①妨害した守備者を指さし『インターフェアランス(守備妨害)』を宣告する。</p> <p>⇒②両手を開いて頭上に挙げ『ボールデッド』をコールし、試合の進行を一時停止する。</p> <p>⇒③当該ランナーに対し『アウト』を宣告し、他のランナーはキッカーがボールに触れた時に占有していた塁に戻る。</p> | |
| 3. | <p>①妨害した守備者を指さし『オブストラクション(走塁妨害)』を宣告する。</p> <p>⇒②左手を握って横に出し『ディレードデッドボール』とコールし、成り行きを見守る。</p> <p>⇒③プレイが一段落した後、当該ランナーに妨害がなければ達したと思われる塁までの安全進塁権を与える。</p> | |
| 4. | <p>①妨害した守備者を指さし『インターフェアランス(守備妨害)』を宣告する。</p> <p>⇒②左手を握って横に出し『ディレードデッドボール』とコールし、成り行きを見守る。</p> <p>⇒③プレイが一段落した後、当該ランナーに妨害がなければ達したと思われる塁までの安全進塁権を与える。</p> | |

問5 次の事例に対する適切な措置を選択し解答欄にその記号を記入しなさい。

(各3点)

【事例】

2アウト、ランナー一塁・三塁でキッカーがフェアボールをキックした。

三塁ランナーは本塁に生還し、一塁ランナーは二塁をオーバーランした後二塁ベース上に戻った。この時キッカーランナーも二塁に進塁していたため、二塁ベースに一塁ランナーとキッカーランナーの二人がベース上にいた。

守備者は、一塁ランナーにタッチ(触球)した後、キャッチャーにボールを返球しホームボールデッドとなった。

| | | 解答欄 |
|----|---|-----|
| 1. | 一塁ランナーは a. アウトを宣告する b. 三塁まで進塁させる c. 二塁ベースに留まる | |
| 2. | キッカーランナーは a. 一塁に戻す b. 二塁ベースに留まる c. アウトを宣告する | |
| 3. | 三塁ランナーは a. 三塁に戻す b. アウトを宣告する c. 本塁への生還を認める | |
| 4. | 試合再開は a. 3アウトで攻守交替する b. 2アウト、ランナー一塁・二塁で試合を再開する c. 2アウト、ランナー二塁・三塁で試合を再開する | |

2020年 JFBA 試験問題(3級用)

解答

問1 次の文章で、正しいものに「○」、間違っものに「×」を解答欄に記入しなさい。

(2点×35問=70点)

| | | 解答欄 |
|----|---|-----|
| 1. | 小学生用コートのフェアラインは、本塁の交点から半径6m、中学生・成人用は7mである。 | ○ |
| 2. | ベースラインとは、本塁と一塁、および本塁と三塁を結ぶファウルラインを外野方向に延長したラインでフェア地域とファウル地域とを区画するラインである。 | × |
| 3. | 境界線は、競技場を区画するラインでボールが境界線に到達したとき。またはボールを保持したプレイヤーの身体の一部がオンライン上にある場合はボールデッドとする。 | ○ |
| 4. | 同一チームのユニフォームは同色・同意匠で統一し、プレイヤーの背番号は1番から25番とする。 | ○ |
| 5. | 危険防止のため、プレイ中の腕時計、指輪、ブレスレットやネックレス、イヤリング、ヘアピン等危険と思われるものの着用は禁止する。 | ○ |
| 6. | ランナーコーチは、メンバー表に登録されたプレイヤーが一塁側・三塁側コーチーズボックスに入れるが、入るか入らないかは攻撃側の自由である。 | ○ |
| 7. | キャッチャーは、ボールを本塁ベース上にセットした後、速やかにキャッチャーズサークル内に入り、キッカーがボールに触れるまではキャッチャーズサークルから出てプレイしてはならない。 | ○ |
| 8. | プレイヤーの交代は、監督(又は代理者)が主審に通告し、主審が受諾了解して時点で成立する。 交代したプレイヤーは退いたプレイヤーのキック順を受け継ぐことになる。 | ○ |
| 9. | 一旦試合から退いたプレイヤーはランナーコーチとして以外はその試合に参加できない。(リエントリー(再出場)の場合を除く) | ○ |

| | | 解答欄 |
|-----|--|-----|
| 10. | 通告をしないでプレイヤーが出場・交代したときは『無資格プレイヤー』となる恐れのあるプレイヤーとなり、相手チームに発見された場合は、直ちに『無資格プレイヤー』となる。 | ○ |
| 11. | プレイヤーは、登録名簿又はメンバー表のいずれかに掲載されていなければならない。 | × |
| 12. | キャッチャーが本塁ベース上でボールを保持したときは、『ホームボールデッド』となるが、進塁中のランナーは次の塁までの安全進塁権が与えられる。 | × |
| 13. | フォース状態で蹴られたゴロのフェアボールが塁上のランナーに直接触れた場合は、インプレイでランナーは進塁できる。 | × |
| 14. | インプレイ中にベースコーチがランナー触れた場合は、ボールデッドを宣告する。 | ○ |
| 15. | インプレイ中のボールが審判員に当たった場合は、ボールデッドとなる。 | × |
| 16. | タイブレークを採用する場合の試合の続行方法は、「無死、ランナー一塁・二塁の状態から行なう。 | × |
| 17. | キッカーは、キッカーズサークルサイドラインの横で待機し、キャッチャーがキャッチャーズサークルに入ればキッカーズサークル後方のバックラインに沿って進行し、任意の位置で本塁ベース方向に向かって停止する。キッカーは一旦停止した後は左右いずれにも移動してはならない | × |
| 18. | キッカーが助走中に、停止したり同じ位置で足踏みをした場合は、キッカーの動作違反で『ファウル』と判定する。 | ○ |
| 19. | キッカーによりキックされたゴロのボールが、フェアラインに到達した後に守備者に触れた場合は、フェアボールである。 | ○ |
| 20. | キッカーランナーが一塁ベースを走り抜けるときはファウル地域側のベースに触れなければならない。 | ○ |
| 21. | 不正位キッカーがキックを完了し、次のキッカーがキッカーズサークルに入り、主審がキックの合図(笛を吹いた)をした後は、相手チームからのアピールは認められない。 | ○ |
| 22. | ランナーが塁を逆走しなければならないときは、ボールデッド後であっても進塁とは逆の順序で、全ての塁に再度触れて戻らなければならない。 | × |

| | | 解答欄 |
|-----|---|-----|
| 23. | キッカーがボールに触れる前に、ランナーが塁を離れたときは、離塁反則として当該ランナーにアウトを宣告する。 | ○ |
| 24. | タッチアップの早すぎたランナーが次の塁に達しボールデッドになった場合、当該ランナーは元の塁に戻れない。 | ○ |
| 25. | ランナーが進塁中にホームボールデッドになった場合、ランナーは直前に占有していた塁に戻らなければならない。 | ○ |
| 26. | フェアボールが一旦守備者に触れた後、塁間のランナーに当たったときは、ランナーはアウト、ボールデッドとなる。 | × |
| 27. | ランナーがホームボールデッド後勢いあまって境界線を出たため、当該ランナーにアウトを宣告した。 | × |
| 28. | ボールを持たない守備者がランナーの走塁を妨げたため、即座に『走塁妨害』『ボールデッド』を宣告した。 | × |
| 29. | 低いライナーのボールを守備者が捕球したとき、勢いあまってボールの下部が地面に接触したが、捕球とみなして『キッカーアウト』を宣告した。 | × |
| 30. | 守備者の横をすり抜けそうなフェアボールを守備者が足で止め一塁に送球した。このとき、キッカーランナーが一塁ベースに触塁するより早く守備者が一塁ベース上で送球を保持したので、キッカーランナーに『アウト』を宣告した。 | × |
| 31. | ランナーは、守備者が捕球または送球しようとしている場合、その場所を譲る義務があり、守備者のプレイを妨げた場合は守備妨害となる。 | ○ |
| 32. | 公式試合の審判員は、主審1名と塁審3名および副審(記録員)2名で構成し、各審判員の任務は全員同等である。 | × |
| 33. | 守備者が塁上でボールを保持するのとランナーの触塁が同時の場合はセーフと判定する。 | ○ |
| 34. | キッカーのキックと守備者またはキャッチャーのラインオーバーが同時の場合は、キック妨害と判定する。 | × |
| 35. | 受け付けられる抗議は次の場合である。 (3) 競技規則の解釈に間違いがあるとき (4) 審判員の裁定が、規則の適用を誤って課せられた疑いがあるとき | ○ |

問2 次のうち試合を続行するプレイ(インプレイ)を選択し、解答欄に「○」を記入しなさい。

(2点×正答4=8)

※ 正答以上に「○」がある場合は減点する。

| | | 解答欄 |
|----|--|-----|
| 1. | 蹴られたゴロのフェアボールがフォース状態におかれた塁上のランナーに直接触れた場合 | |
| 2. | ランナーが進塁・帰塁(安全進塁・帰塁を除く)の別なく守備者の投げたボールに触れた場合 | ○ |
| 3. | ランナーが挟殺プレイ中のラインオーバーでアウトとなった場合 | ○ |
| 4. | ランナーの離塁が早くアウトになった場合 | |
| 5. | 後位のランナーが前位のランナーを追い越した場合 | ○ |
| 6. | インプレイ中のボールが審判員に当たった場合 | ○ |

問3 次の事例に対する適切な措置を選択し、その記号を解答欄に記入しなさい。

【事例】

2アウト、ランナー一塁・二塁でキッカーがフェアボールをキックし、一塁ランナー・二塁ランナーおよびキッカーランナーがホームインした。

ホームボールデッド後、守備側チームから一塁ランナーが三塁ベースを空過したとのアピールがあり、これが認められた。

(3点×2問=6点)

| | | 解答欄 |
|----|--|-----|
| 1. | アウトになる選手は a. 一塁ランナー b. 二塁ランナー c. キッカーランナー | a |
| 2. | 得点は a. 0点 b. 1点 c. 2点 | b |

問4 次の事例に対する審判員の正しいコール・動作・措置を次の組み合わせの中から選択し「○」を記入しなさい。(4点×正答1=4点)

【事例】

ボールを持たない守備者または送球・捕球プレイに直接関係しない守備者が、ランナーの走塁を妨げるプレイが発生した。

| | | 解答欄 |
|----|--|-----|
| 1. | <p>①妨害した守備者を指さし『オブストラクション(走塁妨害)』を宣告する。</p> <p>⇒②両手を開いて頭上に挙げ『ボールデッド』をコールし、試合の進行を一時停止する。</p> <p>⇒③当該ランナーに対し妨害がなければ達したと思われる塁までの安全進塁権を与える。</p> | |
| 2. | <p>①妨害した守備者を指さし『インターフェアランス(守備妨害)』を宣告する。</p> <p>⇒②両手を開いて頭上に挙げ『ボールデッド』をコールし、試合の進行を一時停止する。</p> <p>⇒③当該ランナーに対し『アウト』を宣告し、他のランナーはキッカーがボールに触れた時に占有していた塁に戻る。</p> | |
| 3. | <p>①妨害した守備者を指さし『オブストラクション(走塁妨害)』を宣告する。</p> <p>⇒②左手を握って横に出し『ディレードデッドボール』とコールし、成り行きを見守る。</p> <p>⇒③プレイが一段落した後、当該ランナーに妨害がなければ達したと思われる塁までの安全進塁権を与える。</p> | ○ |
| 4. | <p>①妨害した守備者を指さし『インターフェアランス(守備妨害)』を宣告する。</p> <p>⇒②左手を握って横に出し『ディレードデッドボール』とコールし、成り行きを見守る。</p> <p>⇒③プレイが一段落した後、当該ランナーに妨害がなければ達したと思われる塁までの安全進塁権を与える。</p> | |

問5 次の事例に対する適切な措置を選択し解答欄にその記号を記入しなさい。

(3点×4問=12点)

【事例】

2アウト、ランナー一塁・三塁でキッカーがフェアボールをキックした。

三塁ランナーは本塁に生還し、一塁ランナーは二塁をオーバーランした後二塁ベース上に戻った。この時キッカーランナーも二塁に進塁していたため、二塁ベースに一塁ランナーとキッカーランナーの二人がベース上にいた。

守備者は、一塁ランナーにタッチ(触球)した後、キャッチャーにボールを返球しホームボールデッドとなった。

| | | 解答欄 |
|----|---|-----|
| 1. | 一塁ランナーは a. アウトを宣告する b. 三塁まで進塁させる c. 二塁ベースに留まる | c |
| 2. | キッカーランナーは a. 一塁に戻す b. 二塁ベースに留まる c. アウトを宣告する | a |
| 3. | 三塁ランナーは a. 三塁に戻す b. アウトを宣告する c. 本塁への生還を認める | c |
| 4. | 試合再開は a. 3アウトで攻守交替する b. 2アウト、ランナー一塁・二塁で試合を再開する c. 2アウト、ランナー二塁・三塁で試合を再開する | b |